

会報

No. 18

1984年4月
日本分子生物学会
事務局発行

◆学会事務センターへの業務移行について

昨年度の総会で御報告したように、学会事務センターへの業務移行は次のような予定で進んでおります。

昭和 59 年 7 月 会員原簿移行開始

9 月 入力終了, 校正, 訂正

10 月 センターによる第7回年会プログラム発送

昭和 60 年 1 月 評議員選挙の公示と会員名簿の発行

4 月 正式契約発効

センターに移行する業務の主な内容は次の通りです。

1) 会員業務

- (イ) 会員原簿の管理
- (ロ) 入退会の受付
- (ハ) 住所等会員の連絡先の変更の受付
- (ニ) 会費の徴収
- (ホ) 会報等の送付

2) 会計事務

- (イ) 出納および会計
- (ロ) 決算案の作成
- (ハ) 会計監査の準備と立会い
- (ニ) 予算案の作成

以上の業務委託に関する費用は、昭和 59 年度 70 万円、昭和 60 年度以降 140 万円が見込まれますが、なるべく会費の値上げをしないで運営して行きたいと考えております。

◆山田科学振興財団の研究，来日，派遣，集会の援助申込みについて

援 助 名	募 集 開 始	締 切 日
来 日 (60年4月～61年3月分)	59年4月1日	59年11月30日
長 期 間 派 遣 (60年4月～61年3月分)	59年4月1日	59年11月30日
短 期 間 派 遣	出発月の4ヵ月前の15日が締切日 (例：59年10月出発の場合59年6月15日が締切日)	
学 術 交 流 集 会 (60年4月～61年3月分)	59年4月1日	59年9月30日
研 究 援 助	59年9月頃	60年3月31日

◆第24回 東レ科学技術受賞者(2名)

推 薦 学 会	研 究 題 目	研 究 者	賞
日本物理学会	近藤効果の理論	東京大学名誉教授 東京理科大学教授 芳田 圭	本賞 金メダル 副賞 300万円
電子通信学会	高密度磁気記録の 研究	東北大学 教授 岩崎 俊一	〃

◆第24回 東レ科学技術研究助成金受領者（11件）

（五十音順）

推薦学協会	研究題目	代表研究者	研究助成金額
日本農芸化学会	種子発芽初期における膜系発達の分子機構	名古屋大学 教授 旭 正	(千円) 11,000
日本化学会	超音速分子流レーザー分子分光学による溶媒和の研究	東北大学 教授 伊藤 光 男	7,000
日本物理学会	電子・イオンビーム励起全反射X線分光法による固体表面の元素分析と構造の研究	東京大学 教授 井野 正 三	12,000
日本鉄鋼協会	クロム鉄鉱および焼結鉄などの製鉄用塊成鉄のガス還元中におけるガスの細孔内拡散速度におよぼす脈動効果に関する研究	東北大学 教授 大森 康 男	10,720
応用物理学会	光化学反応を用いた半導体極微構造の形成に関する基礎研究	東京工業大学 教授 椛 元 宏	10,800
日本天文学会	赤色巨星物理解明のための気球望遠鏡飛揚実験	東京大学 教授 小平 桂 一	12,000
日本生物物理学会 日本細胞生物学会	細胞質分裂の分子機構	東京大学助教授 岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所助教授 (併任) 馬 淵 一 誠	7,000
日本生化学会	真核細胞リボソームRNA遺伝子の構造と発現調節	東京大学 教授 村 松 正 実	7,500
電子通信学会	クライオエレクトロニクス超高性能デジタル回路の開発	埼玉大学 教授 森 末 道 忠	8,100
日本薬学会	キノゲナーゼに関する生化学的研究	東京理科大学 教授 守 屋 寛	7,000
日本機械学会	高温用ヒートポンプの作動流体の熱物性に関する研究	慶應義塾大学 教授 渡 部 康 一	7,000
計			100,120

◆BMY分子生物学研究奨励金候補者推薦の件

上記に関し、野田昌晴氏（京都大学・医学部）「ニコチン性アセチルコリン受容体の構造と機能に関する研究」を推薦いたしました。

◆ EMBO Journal の特別割引について

本学会会員は、上記の雑誌を昭和 59 年購買分より 40,000 円/年で 購買できます。詳細は、ユサコ(株) (03) 502-6471 まで。

勿論、直接 IRL Press Ltd. より購読することもご自由です(年額 \$ 310)。

◆ 第 12 回 核酸化学シンポジウムのお知らせ

と き 昭和 59 年 10 月 30 日(火)～11 月 1 日(木) (3 日間)

と ころ 金沢大学医学部十全講堂

(金沢市宝町 13-1 TEL (0762) 62-8151 内線 2228)

交 通 国鉄金沢駅より北鉄バス錦町行きまたは金沢女子短大行き、小立野(こだつ)の停留所(約 25 分)下車のあと徒歩 5 分

共 催 日本分子生物学会、高分子学会、日本化学会、日本生化学会、日本生物物理学会、日本農芸化学会、日本分析化学会、日本薬学会、有機合成化学協会の予定

主 題 核酸および関連物質の有機化学、物理化学、分析化学および生化学

発表時間 1 演題につき約 20 分(質疑応答を含む)。なお、講演申し込みは原則として 1 研究グループ 1 題とします。

講演申込締切 昭和 59 年 6 月 16 日(土) 必着

演題、所属、氏名(発表者に○印)、連絡先(〒、TEL を含む)を明記し、和文要旨(約 200 字)ならびに申込受領通知用はがき(返信宛先および演題名を記入のこと)を添えて下記連絡先にお申し込み下さい。申込者には講演要旨用の原稿用紙をお送りしますので、英文要旨(4 ページ以内)を作成のうえ締切日厳守で御返送下さい。

要旨集は Nucleic Acids Research Symposium Series (1984) として発行されます。

講演要旨英文原稿締切 昭和 59 年 7 月 14 日(土) 必着

参加予約申込締切 昭和 59 年 10 月 6 日(土)

氏名、所属、連絡先および懇親会への出欠、を明記の上、郵便振替にて「金沢 8-13950 番 第 12 回核酸化学シンポジウム」宛または現金書留にて下記連絡先に御送金下さい。

参加費(当日渡しの要旨集代金を含む)

予約受付 : 4,000 円

当日受付 : 4,500 円

懇親会 昭和 59 年 10 月 30 日(火) 18:30 から 石川厚生年金会館 2 階加賀の間

(金沢市石引 4-17-1 TEL (0762) 22-0011) において、会費 5,000 円)

連絡先 〒920 金沢市宝町13-1

金沢大学薬学部薬品合成化学教室

藤井 澄三(または板谷泰助)

TEL (0762) 62-8151 内線 4435, 4436

◆第7回日本分子生物学会年会のお知らせ

第7回年会を、1984年12月4日(火)～7日(金)の4日間、神戸国際会議場で行ないます。スケジュールについては、後日(9月上旬予定)お送りするプログラムでお知らせします。

特別講演は、A. García-Bellido 教授(Centro de Biología Molecular, Universidad Autónoma de Madrid)とEric R. Kandel 教授(College of Physicians and Surgeons, Columbia University, Center for Neurobiology and Behavior)を予定しております。演題は未定です。

講演の申込み

1. 一般講演の演者は、本年度会費既納の本学会会員に限り、1人1題とします。なお、他の講演の連名者となることは差しつかえありません。(会費納入あるいは入会の手続きについては、本会報“昭和59年度会費納入についてのお願い”を御覧下さい。
2. 一般講演の申込みは、同封の用紙に必要事項を記入し、書留便で年会係までお送り下さい。

締切日 1984年8月18日(土)(必着)

〒113 東京都文京区弥生2-4-16

財団法人日本学会事務センター内

第7回日本分子生物学会年会係

3. 演者の本年度会費納入を確認するために、申込書の所定の欄に、会費払込みの際、郵便局が発行する領収書のコピーを貼付して下さい。

領収書を紛失された方は同欄にその旨御記入下さい。

会費未納の場合、申込みを受理致しませんので御注意下さい。

4. 演題受領書は、申込用紙到着後、演者の本年度会費納入を確認の上、返送致します。発表の日時についての通知は、会員の方に発送されるプログラムをもって代えさせていただきます。演題は申込みの形式および内容に関して

不備、あるいは不適當と考えられる場合、不採用のこともありますので御承知下さい。

5. 一般講演の時間は、15分（講演12分、討論3分）の予定です。スライドは35%判10枚以内とします。会場は3会場の予定です。なお、応募演題数によっては、講演時間を変更することがありますので御了承下さい。

参加申込み及び参加費

1. 年会参加費は4,000円（但し、学生2,500円）です。これには講演要旨集の代金が含まれています。なお、要旨集のみ希望の方には、会員1,500円（但し、会員一人につき一部のみ）、非会員3,000円でお送りします。
2. 年会参加費、要旨集代金の払込みには、同封の振替用紙を御利用下さい。同封の用紙を使用されない場合には、必ず通信欄に、第7回日本分子生物学会と記入の上、送金のうちわけ、住所・氏名を御記入の上、下記の郵便振替口座へ御送金下さい。
口座番号 東京9-66455
加入者名 (財)日本学会事務センター学術講演会係
尚、本年は懇親会の企画はありません。
整理の都合上、申込者1人につき1枚の振替用紙を御使用下さい。
3. 10月20日までに参加費を払い込まれた方には、年会前に講演要旨集を郵送致します。10月21日以降に払い込まれた場合には、年会会場にて要旨集をお渡しすることになりますので御注意下さい。
4. 参加費払込みの領収書は、原則としてお送り致しませんので御了承下さい。念のため、郵便局の領収書を保管しておいて下さい。
5. 当日申し込まれる方は、会場受付で参加費をお払い下さい。

宿泊・航空券の申し込み

宿泊と航空券について下記に委託しました。必要な方は同封の用紙にしたがってお申し込みください。

日本交通公社グループ国際会議事務局関西支局

〒600 京都市下京区塩小路通新町西入

新京都センタービル五階 TEL (075) 341-1618

第7回年会に関する問い合わせ先

本年の年会運営は下記で担当します。この年会についての御意見は準備委員会宛お願い致します。

〒553 大阪市北区中之島4-3

大阪大学(医学部内)細胞工学センター内

第7回日本分子生物学会年会準備委員会

代表 松原謙一

◆昭和59年度学会費納入についてのお願い

1. 昭和59年度分の学会費を同封の郵便振替用紙で納入して下さい。なお、正会員で学生会費を納入される方は、細則第2条により、在学証明書を本学会事務局に提出して下さい。

記

正会員学会費 2,500円

(但し、在学証明書を提出したときは 2,000円)

学会費納入のための郵便振替口座

東京 2-13518

日本分子生物学会会計事務局

昭和58年度分の学会費が未納の方には会費切れの印が押してありますので、59年度分と合わせて納入して下さい。なお、すでに学会費を納入されている場合は御容赦下さい。本学会費の納入に際しては年会参加費と混同しない様お願いします。

2. 年会講演申込みには、学会費納入控(または領収書)を付して年会係に申し込むことになりました。講演を希望される方は、学会費納入控(または領収書)を保管しておいて下さい。また、学会費納入控を保管されていない方は往復葉書で日本分子生物学会事務局に問い合わせ下されば、折り返し納入証明を通知します。

(会計幹事)

◆日本分子生物学会入会申込みの手順

日本分子生物学会に入会を希望なさる方は、下記の手順により、お申し込み

下さい。

記

1. 添付の入会申込書又は同形の用紙に必要な事項を記入の上、下記事務局へ送付して下さい。

〒108 東京都港区白金台4-6-1

東京大学医科学研究所生物物理化学研究部内

「日本分子生物学会」事務局

2. 同時に、入会金1,000円および初年度分会費 正会員は2,500円、学生会員は2,000円を郵便振替により会計幹事宛振込んで下さい。尚、整理の都合上、できるだけ二票式の振替用紙を使用して下さい。

加入番号 東京2-13518

加入者名 日本分子生物学会会計事務局

日本分子生物学会入会申込書

氏 名

(ローマ字)

19 年 月 日生

専門分野

学位

勤務先・職

同所在地

連絡先

貴会に 正^{*} 学生^{*} 会員として入会を希望いたします。

年 月 日

署名

㊟

日本分子生物学会会長 殿

* 不要の文字を消す。学生会員は在学証明書を添付のこと。

分 類

<u>対象別項目</u>	<u>内容別項目</u>
1. 真核生物・細胞	A 遺伝子の構造
2. 原核生物・細胞	B 遺伝子の複製
3. 腫瘍ウイルス	C 遺伝情報の転写
4. DNAウイルス・ファージ	D 遺伝情報の翻訳
5. RNAウイルス・ファージ	E プロセッシング・修飾
6. プラスミド	F 核酸化学
7. トランスポゾン・IS	G 変異・障害と修復
8. 染色体・クロマチン	H 組換え機構
9. mRNA・hr RNA	I 形質転換
10. tRNA	J 遺伝解析
11. 低分子RNA	K 高次構造
12. リボソーム	L 分子集合・形態形成
13. 構造蛋白質	M 細胞周期・分裂
14. 制御蛋白質	N 発生・分化
15. 酵 素	O 運 動
16. 細胞膜	P 神 経
17. 受容体・生理活性物質	Q 免 疫
18. オルガネラ	R 老 化
19. インターフェロン	S 進 化
20. ホルモン・成長因子	T 癌化とトランスホーメーション
21. その他	U 遺伝子工学
	V 細胞工学
	W その他

記入上の注意

1. この用紙は、切り離さずに、郵送して下さい。
2. 受付番号、演題番号等※印の項には記入不要です。
3. 要旨はオフセット印刷にしますので、まず目いっぱい黒インクで書いて下さい。「演題」「氏名所属」という青字の上に重ねて書き始めて下さい。演者の前には、○印を付して下さい。所属は略称を用いて下さい（略称は前年度プログラム参照）。
4. プログラム編集用カードにしたがって、プログラムを編集印刷します。「演題」「氏名所属」を要旨と全く同じに記入して下さい。なお、同一研究グループで複数の関連演題を発表する場合、特に希望があれば希望発表順序を別紙に書き、同封して下さい。
5. 人名索引編集用カードには、演者及び連名の方を、1枠に1人ずつ、すべて記入して下さい。
6. 講演申込書には、「演題」「氏名所属」と共に、連絡者1名の氏名・住所・電話番号を記入して下さい。
7. 発表内容について、対象別分類から1項目、内容別分類から第1希望、第2希望の2項目を選び、番号およびアルファベットで記入して下さい。「その他」の場合、希望項目を記入して下さい。プログラム編成とセッション設定の参考資料と致します。分類と項目番号は別紙に掲載してあります。
8. 演者の本年度会費払込領収書（郵便局発行のもの）のコピーを所定の欄に貼付して下さい。領収書を紛失された方は同欄にその旨御記入下さい。
9. 受領書には、「演題」と共に、裏面に宛名を記入し、40円切手を貼って下さい。

財団法人日本学会事務センター内
第7回日本分子生物学会年会係

F113 東京都文京区弥生2-4-16

40円切手を
はってください。

郵便はがき

□
□
□
-
□
□

殿

第7回日本分子生物学会年会一般講演申込書

講演 申込 書	演題番号※ _____		受付番号※ _____	
	対象別分類 _____	内容別分類の第1希望 _____	同第2希望 _____	
	演 題			
	氏名(所属)			
	連絡者			
住所				
電話番号	市外局番	局番	番号	内線

備考 講演者の前に○印を付して下さい。プログラム原稿となりますので連名の方すべて記入して下さい。講演申込欄の所属は略号を用いて下さい。

ここに、演者の本年度会費の払込の領収書のコピーを貼付して下さい。

受 取 書

受付番号※ _____

受付年月日※ 1984 年 月 日

演 題

上記演題は発表要旨とともに受取りました。

発表の日時は後日お送りするプログラムによって御承知下さい。

東京都文京区弥生 2-4-16
財団法人日本学会事務センター内
第7回日本分子生物学会年会係

記入に際して申込書裏面の注意をお読み下さい。

プログラム編集用カード

演題番号※

受付番号※

対象別分類

内容別分類の第1希望

同第2希望

演 題

氏名所属

人名索引編集用カード

受付番号※

	氏 名		演 題 番 号※
	漢 字	ひ ら が な	
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

